

第3次健康まつえ21基本計画(素案)に対するご意見への対応について(委員意見)

No	区分	該当箇所	いただいたご意見等	対応方針	
1	委員意見	P20 取組1-① 適切な食生活の推進	取組内容1. 一つ目、二つ目	取組内容に食事のバランスに関する記載はあるが、数値目標になっている「朝食を欠食する人の割合」についての記載が取組内容のところにない。実際のところ、朝食を欠食する人が減れば、バランスのいい規則正しい食事を摂ることにつながると思う。	・取組内容1を修正しました。 ● 乳幼児期から学童期・思春期は、欠食せず規則正しく食事し生活リズムを整えるなどの啓発を家庭や保育所、幼稚園、学校等と連携し行い、望ましい食習慣の定着を図ります。 ● 青年期以降は学童期・思春期までに培った食習慣を土台にし、自分のライフスタイルに合わせた方法で、食事のバランスをとる必要性を伝えます。
2	委員意見	P23 取組1-② 適正体重の維持	数値目標 2行目	数値目標に、「75～84歳の高齢者のやせの割合」はあるが、他の年代の数値は評価・検証できないのか。最近、若年女性の痩せが問題になっているので、若年女性のやせを数値目標に加えて、評価・検証をしても良いと思う。	・数値目標に若年女性のやせの割合の減少を追加しました。 20～30歳代女性のやせ(BMI18.5未満)の割合(%) 現状値(R4) 20.2 ⇒ 目標値(R16) 15.0 出典：松江市保健衛生統計書
3	委員意見	P26 取組2-① 生活習慣病・介護予防に向けた運動習慣づくりの推進	行動目標	思春期の方が「まつえっこ体操」や親子で体を動かすことは想像しがたい。妊産婦、青年・壮年、高齢期と同様に「生活の中で体を動かすようにする」「習慣的に運動を行う」とした方が良いと思う。	・以下のとおり修正しました。 「生活の中で体を動かすようにする」の対象ライフステージを思春期、妊産婦、青年・壮年期とする。
4	委員意見	P26 取組2-① 生活習慣病・介護予防に向けた運動習慣づくりの推進	取組内容1. 四つ目	行動目標をみると、青年期・壮年期、高齢期は「習慣的に運動を行う」、乳幼児期、学童期・思春期は「まつえっこ体操で習慣的に体を動かす」となっている。資料1の27ページを読むと、市の方針として、高齢者にフレイル予防のための運動を取り組んでほしいという意図があるようだが、高齢者の体の状態は様々であり、ライフステージ全体として、「習慣的に体を動かす」という表現が正しいのかなと思う。	・取組内容に一部追記しました。 ● 高齢者の通いの場等においては、高齢者の体の状態に合わせて、フレイル予防のための運動等を積極的に取り組むよう情報提供や啓発を行います。
5	委員意見	P27 取組2-① 生活習慣病・介護予防に向けた運動習慣づくりの推進	数値目標 2行目	数値目標に「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している人の割合」があるが、子どもの場合、体育の授業で運動した時間はこの数値に含まれているのか。含まれていないのであれば、市としては、体育の時間に加えてそれ以上の運動することを子ども達に求めているという認識でよいか。	・数値目標の指標説明を追記しました。 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上1年以上実施している人の割合(20歳以上) 「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している人の割合」は20歳以上を対象とした数値目標である。学童期の数値目標として掲げている「運動を毎日している小児児童の割合」はスポーツ庁が実施する「体力・運動能力、運動習慣調査」の数値で評価するが、この調査は体育の授業を除いた数値である。 ・市としては、学童期からの運動習慣定着のため日常的な運動を推進する。
6	委員意見	P27 取組2-① 生活習慣病・介護予防に向けた運動習慣づくりの推進	写真	まつえっこ体操の写真データがあるが、QRコードを入れ、動画が見られるようにしてはどうか。	・チラシや広報等啓発時にQRコードを活用します。
7	委員意見	P28 取組3-① ストレス対策(こころの健康づくり)の推進	図3-1-1 ストレスの解消状況	・ストレスの解消状況について示したグラフがあるが、男女・年代別のデータもあれば見たい。	男女別は大きな差異はなく、年代別は年代が上がるにつれ「ストレスを感じない」人の割合は増加傾向であるものの、大きな特徴ありませんでした。(別紙参照)
8	委員意見	P29 取組3-① ストレス対策(こころの健康づくり)の推進	取組内容1.	解消法があってもストレスが解消できない人が多いと感じたが、これは、普段忙しく、時間がないことが影響しているのではないかと。解消法が無い人に向けた取組に加えて、解消法があってもストレスを解消できない人に対する取組もあると良いと思う。	メンタルヘルスについての取組内容は、解消法があってもストレスを解消できない人への対応も含んでおります。また、ご指摘のとおり、特にお仕事で忙しくて時間がないことが影響していることが考えられます。この点につきましては「取組8-①健康づくり・健康経営に取り組む事業所の拡充」において取組を推進してまいります。

第3次健康まつえ21基本計画(素案)に対するご意見への対応について(委員意見)

No	区分	該当箇所	いただいたご意見等	対応方針	
9	委員意見	P34	取組4-② 口腔機能の維持 用語説明	オーラルフレイルの説明について、文中「老化」とあるが「虚弱」の方が良いのではないか。(オーラルフレイルはフレイルの初期でみられやすいともいわれているため。)	・ご意見のとおり修正しました。
10	委員意見	P34 ~36	取組4-② 口腔機能の維持 リード文3つ目 行動目標 取組内容2. 二つ目	取組4-①で歯周病と全身疾患との関連については取り上げているが、「よくかまない(早食い)」や「よくかめない」ことが生活習慣病やメタボへのリスクを高めることについての記載があるとよい。(小児と高齢期で口腔機能のはなしになっており、青・壮年期にも必要ではないか。)	・以下のとおり追加しました。 【リード文3つ目】を以下のとおり追加。 ●食べ物をゆっくり噛むこと、なんでも噛める口腔機能を維持することは、良好な栄養素摂取、栄養状態につながるだけでなく生活習慣病の予防につながります。 【行動目標】 「よく噛んで食べる」を追加。 【取組内容2.】二つ目を以下のとおり追加。 ●生活習慣病やフレイルを予防するため、「ゆっくりとよく噛んで食べること」の重要性を啓発します。
11	委員意見	P44 P45	取組6-① 健康診査・がん検診受診率の向上 行動目標 取組内容1.	1番の課題が「自覚症状がないから」であるのに、取組内容に市民への正しい周知啓発が盛り込まれていないが、最も大切なことではないか。	・学童期・思春期の行動目標に「生活習慣病やがん等の知識を理解する」を追加しました。 ・取組内容に1.として以下のとおり追加し、他の項目を整理しました。 1. 健診・がん検診を受ける必要性の周知・啓発 ●学童期から生活習慣病やがん等の教育を推進します。 ●地域、関係機関と連携し、あらゆる機会を活用して、健診・がん検診を受ける必要性を啓発します。
12	委員意見	P49	取組7-① 地域のつながりを活かした健康づくりの推進 リード文 3つ目	・以下のとおり文章の修正、追記できないか。 ●高齢者は、段階的に社会とのつながりが弱くなる傾向があり、フレイルを予防するためにも地域で社会参加の機会をつくる ことが重要です。 り、現在すでにある高齢者組織を支援することも重要です。	・以下のとおり修正しました。 ●・・・、フレイルを予防するためにも 高齢者組織等と連携し、 地域で社会参加の機会をつくる ことが重要です。
13	委員意見	P51	取組7-① 地域のつながりを活かした健康づくりの推進	取組内容の表現が抽象的すぎてどのように取り組んだら良いのか分からない。地域での取組が進んでいないこともあり、具体的な内容を示さないと難しいと思う。 取組を行う上で参考になる事例紹介などがあれば良いと思う。	・取組内容をイメージ化するため地域ヒアリングの吹き出しや地区活動のイメージ写真を挿入しました。
14	委員意見	P54	取組8-① 健康づくり・健康経営に取り組む事業所の拡充 行動目標	誰が取り組むのかという部分、いわゆる主体の考え方が難しい。事業所での取組は地域保健で苦手にしてきた分野なので、事業所と健康づくりに取り組む上での方向性を示すことができると、より充実した取組が展開できると思う。事業所の方と意見交換しながら進めていけると良いかもしれない。	・行動目標の主体を追記しました。 「行動目標」→「 事業主の 行動目標」 ・これに合わせ、取組6-①~10-②の行動目標を以下のとおり整理しました。 取組6、9、10・・・ 市民の 行動目標 取組7・・・ 地域の 行動目標 取組8・・・ 事業主の 行動目標
15	委員意見	P54	取組8-① 健康づくり・健康経営に取り組む事業所の拡充 数値目標	数値目標に「健康づくり・健康経営に取り組んでいる事業所の数」とあり、現状値が68となっているが、これは健康まつえ応援団の登録事業所数であり、ここでの指標名は「健康まつえ応援団に登録している事業所数」になると思う。実際に市内で健康経営に取り組んでいる事業所数は68ではないと思う。 健康経営に取り組んでいる事業所数を把握するためのアンケート調査や新たな制度の創設などを検討してほしい。	・現状値を修正しました。併せてP52の現状と課題五つ目に「ヘルス・マネジメント認定制度」に係る記述を追記しました。 【現状と課題】 県(圏域)も健康づくりに取り組む事業所「しまね☆まめなカンパニー」を増やす取組や、「ヘルス・マネジメント認定制度」の普及・促進を行っており、今後は・・・ 【現状値】 「68」→「195(まめな☆カンパニー、応援団、ヘルス・マネジメント認定事業所、健康経営優良法人認定法人の総数)」

第3次健康まつえ21基本計画(素案)に対するご意見への対応について(委員意見)

No	区分	該当箇所		いただいたご意見等	対応方針
16	委員意見	P54	取組8-① 数値目標	目標値を「増やす」と書くと、市役所が増やしてくれるのかなと思うが、実際は違うと思う。事業所の健康づくりを役所が引っ張っていくのは間違いないが、修正が必要な箇所ではないか。	・目標値を修正しました。 「増やす」→「260（健康づくり・健康経営に取り組む事業所を年間5事業所以上増やす）」
17	委員意見	P59	取組10-① 健康的な食環境づくりの推進	行動目標をみると、妊産婦期から高齢期の方が「自分の食生活について関心を持つ」とあるが、乳幼児期や学童期・思春期も含めた全てのライフステージにかかる話かと思う。	・行動目標を全年齢に修正しました。
18	委員意見	P61	取組10-② 「くらし」にとけこむ健康づくり	行動目標をみると、青年期・壮年期、高齢期に限定されていますが、障害のある方、妊婦、親子など誰もが歩きたくなくなるようなまちづくりを進めるということになると思うので、全てのライフステージにかかる話なのかと思う。	・行動目標を全年齢に修正しました。